

項目	取組状況
教育	<p>◆ 平成30年度担当科目</p> <p>総合工学システム概論（1年）、電子回路（4H）、基礎研究（4H）、人間工学（5H）、卒業研究（5H）、応用センサー工学（専1E）、工学基礎研究（専1）、リスクマネジメント（専2）、工学特別実験実習（専2）、工学特別研究（専2）、工学特別ゼミナールⅡ（専2）</p> <p>◆ 担当科目の取組状況（工夫・改善した点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子回路では復習テストを授業の最初におこなうことで、基礎を固めることに利用した。また次回に復習テストを返却し、解説を加えた。 ・人間工学、応用センサー工学、リスクマネジメントでは授業用パワーポイントを作成し、学生に閲覧できるようにしている。 ・工学特別実験実習では、実際に企業の方に来ていただき学生の場合に対して意見をいただいた。
研究	<p>◆ 平成28～30年度における研究業績</p> <p>■ 学術論文執筆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金田忠裕、藪厚生、安藤太一、大崎純平、川崎直哉、ユニットの組み合わせによって構成可能なロボットアーム教材の開発、日本産業技術教育学会誌、第59巻、第4号、2017年 pp.273-279. ・Keiko Nakatani, Takeshi Wada, Tomoharu Doi and Tadahiro Kaneda, Promotion of self-growth of students by PBL-type manufacturing practice, Journal of Robotics and Mechatronics, Vol.29, No.6, (2017), pp.1037-1048. ・Atsuo Yabu, Tadahiro Kaneda, Issei Maeda, Wataru Sakurai, Development of Educational Service Robot, Journal of Robotics and Mechatronics, Vol.30, No.3, (2018), pp.477-484. <p>他2件</p> <p>■ 国際会議での発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Growth of Mentor Teachers through the Peer Conference in a Teaching Portfolio Workshop, Yukari Kato, Suguru Higashida, Tadahiro Kaneda, and Kenichi Kitano, International Conference for Media in Education(ICoME 2017), University of Hawaii at Manoa, Thursday August 3, 2017. <p>■ 学術講演会での発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金田忠裕、中道誠樹、椿崇裕、藪厚生、全方位クローラの製作、日本機械学会ロボティクスメカトロニクス2017講演会講演論文集 CD-ROM 番号 2P2-I12, ビッグハットふくしま(福島県郡山市) 2017年5月12日. ・西堂大樹, 金田忠裕, 藪厚生, 深津将生, ロボットプレゼン用プラットフォームの作成, 計測自動制御学会第18回システムインテグレーション部門講演会(SICE SI2018)講演論文集, 大工大梅田キャンパス, 2018年12月13日, pp.701-703. ・永原大暉, 金田忠裕, 藪厚生, 呼吸によるモルス信号を用いたハンズフリー音声出力デバイスの開発, 計測自動制御学会第18回システムインテグレーション部門講演会(SICE SI2018)講演論文集, 大工大梅田キャンパス, 2018年12月13日, pp.704-707. <p>他22件</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 28～30 年度における外部資金獲得状況 <ul style="list-style-type: none"> ・科学研究費補助金 平成 26 年度～28 年度基盤研究 (C) (一般)「組み合わせが可能なロボットアーム・ハンド教材の開発」(270 万円) ・2018 年度 JR 西日本あんしん社会財団「災害時における障がい者の避難所特化可搬型トイレの開発」共同研究者 (研究代表者: 小島久典) (200 万円) ◆ 学会などでの受賞 <ul style="list-style-type: none"> ・SI2018 優秀講演賞 (共同)、「呼気によるモールス信号を用いたハンズフリー音声出力デバイス」の開発, 計測自動制御学会第 19 回システムインテグレーション部門学術講演会
<p>社会貢献</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 28～30 年度における公開講座・出前授業の取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・みんなの未来フェスティバル ロボットワークショップ、H30/8 ・大阪科学技術館 モータ工作教室「スケルトンテクノロボット」、H30/8 ・八尾市生涯学習センターなつやすみこども講座「風で動くロボット♪ウィンドウォーカーをつくろう」, H28/8 <p>他 33 件</p> ◆ 平成 28～30 年度における学協会等の委員 <ul style="list-style-type: none"> ・日本高専学会 理事 事務局担当 (H27 年度から) ・日本工学教育協会 編集・出版委員会委員 (H23 年度から) ・関西工学教育協会 高専部会 幹事 (H29 年度から) ・日本機械学会関西支部第 94 期商議員 (H30 年度から) ・学生ロボコン競技専門委員 (H27 年度から H30 年度まで) ◆ 特記すべき社会貢献の内容 <p>校長顕彰 (2011 年から連続)</p>